

## 5年生のみなさんへ

「山路来て 何やらゆかし すみれ草」という松尾芭蕉が春をテーマにして作った俳句があります。山道をずっと歩いていると、道ばたに咲いているすみれの花に何となく心がひきつけられたという意味です。みなさんも、これを見ると春だなと感じるものはありませんか。感じたことを俳句にしてみましょう。



## 俳句づくりにチャレンジ！！

「俳句」は簡単に言うと「ものすごく短い詩」のことです。学校に行ったり、友達と遊んだり、家の人と出かけたり、毎日の暮らしの中には俳句の材料がたくさんあります。だれでも、どこでも、すぐに作れるのが俳句のよいところです。ただし、俳句にも野球やバレーボールのように「ルール」があります。ルールは2つです。

### ルール1 五・七・五の17音で作る

次は勝つ

五音

小さな「っ」やのばす音、「ん」も、一音と数えます。

ボールをけて

七音

夏の空

五音

季語(夏)

### ルール2 季語を入れる

俳句では、ふつう、「季語」という季節を表す言葉を使って、季節感を表します。

#### 季語の例

<春>あたたか かえる 桜 入学 ひばり <夏>泳ぎ かぶと虫 トマト タ立 あせ  
<秋>コスモス さんま こおろぎ 台風 冬じたく <冬>さざんか 雪 大根 手ぶくろ 北風

感動が伝わる俳句にするためにはポイントがあります。

### たとえ(「~のよう」「~みたい」)を使ってあらわす。

次の2つの俳句を比べてみましょう。あじさいが雨を楽しんでいる様子がつたわるのはどちらですか。

#### ①雨の中 あじさいたちが ゆれている ②雨の歌 あじさいたちが おどいだす

①のようにありきたりだったり、説明になっていたりする場合は感動があまり伝わってきません。②のようにあじさいがまるで人のように、うれしそうにおどっているという表現の方が感動しませんか。みんなが思いつかないようなたとえ、新鮮さのあるたとえができたとき、句がいつそうひきたちますよ。

言葉の順番を変えてみたり、漢字、平仮名、片仮名のどれを使って書き表したりするかによっても印象が変わりますよ。

#### 細池先生からのメッセージ

#### まってるよ おもいつたえる 春の風

「みなさんと会える日を楽しみにしています」という思いが春風にのって、みなさんのもとに届きますように。

